

# 初秋の果物

- 家計調査（二人以上の世帯）結果より -

9月23日は秋分の日、暦の上では秋も半ばとなります。皆様の食卓にも、さまざまな秋の味覚が並んでいるのではないのでしょうか。そこで今月は、初秋の味覚を代表する果物の中から、「なし」と「ぶどう」の支出をみてみましょう。

## 8月と9月で年間支出の約7割

品目別に年間支出金額に対する月別割合（平成16～18年平均）をみてみましょう。最近では、にんじんなどの野菜は、季節を問わず1年中購入されていますが、なし、ぶどうは共に8～9月の購入が多く、この2か月間の支出が、それぞれの年間支出金額の約7割を占めており、季節性が強く現れています（図1）。

## ぶどうは甲府市、なしは鳥取市が1位

次に、なしとぶどうの年間支出金額（平成16～18年平均）を都道府県庁所在市別にみてみますと、ぶどうは甲府市、なしは鳥取市が最も多く、これらの果物の収穫量が多い県で、購入も多くなっていることがわかります（表1）。

（参考）

品目別収穫量（農林水産省）の平成16～18年平均を算出すると、ぶどうの収穫量は山梨県が全国で最も多く、なしの収穫量は鳥取県が全国で3位となっています。

## 購入は減少傾向

最後に、なしとぶどうの1人当たりの年間支出金額の推移をみてみますと、平成18年の支出金額は、ぶどうが733円、なしが649円と、共に12年の7～8割となっています（図2）。

図1 年間支出金額に対する月別割合  
（平成16～18年平均）

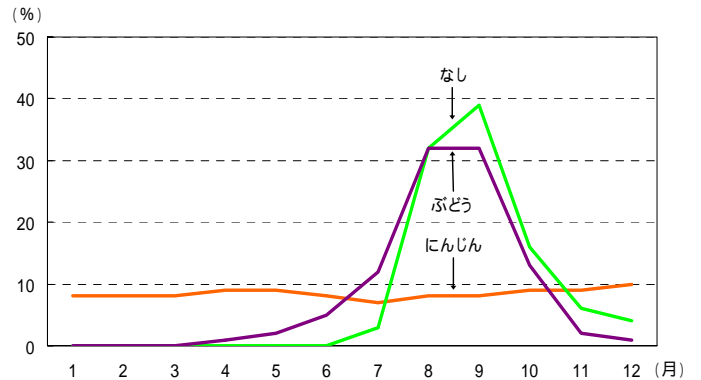


表1 年間支出金額の都道府県庁所在市別ランキング  
（平成16～18年平均）

（単位：円）

	ぶどう		なし	
1	甲府市	9,066	鳥取市	8,932
2	岡山市	5,866	松江市	6,116
3	広島市	3,569	新潟市	4,368
4	松山市	3,477	千葉市	4,086
5	松江市	2,957	福島市	3,584
平均	全国	2,358	全国	2,164

図2 1人当たりの年間支出金額の推移  
（平成12年～18年）

